

■概要（主旨）

- まちの魅力や課題を共有し、このまちの将来や実現したいことを考える場として住民ワークショップを開催。
- 収集した意見は、検討会議でも共有し、まちづくり構想案へ反映。

■内容（案）

第2回住民ワークショップ

日時：平成30年4月15日（日）10～12時
（実質1時間半程度）

場所：人権文化センター 大会議室

申込：不要（自由参加）
※対象区域外からの参加もOK

進め方：60～70名程度の参加者を想定。
※第1回は54名参加。
8～10名程度で1テーブル（各テーブルにマネージャー1名）

第1回で出た意見＋検討会議の重要課題を元に4テーマを設定。参加者は、前半・後半で1テーマずつテーブルを選びディスカッション。
（1テーマ、1～2テーブルを用意）

テーマ案：①今ある施設・空間を活かす
②地域資源・魅力を広く発信する
③公共施設の未来を考える
④学校・教育環境を考える

プログラム（案）：

1 会長あいさつ、主旨・プログラム・基本ルール説明 (10分)

2 グループ討議

(1) テーマ別ディスカッション その1 (25分)

参加者は1テーマを選択

テーマ① 今ある施設・空間を活かす（今すぐできること）

- ・【空き家・店舗、空き施設、空き地などの活用事例】を提示・説明。
- ・どの施設・空間が、何に使えるのか、自分がどんなことをできるか など

テーマ② 地域資源・魅力を広く発信する

- ・【地域資源マップ】を提示。
- ・マップに出ていない資源・魅力をあげる、外から人を呼ぶ、地域を盛り上げる等の視点から、資源・魅力をどうアピールするか など

テーマ③ 公共施設の未来を考える

- ・【公共施設マップ】を提示、位置や機能などを説明。
- ・よく利用する施設・あまり利用しない施設、一緒にあると便利な施設・機能 など

テーマ④ 学校・教育環境を考える

- ・【富秋中学校区の学校・教育環境】に関する資料を提示・説明。
- ・現在の学校・教育環境に関する不安・課題、こうすると良いというアイデア など

(2) テーマ別ディスカッション その2 (25分)

- ・参加者は、異なるテーマのテーブルに移り、(1)と同様の意見交換等を行う。

(3) グループ討議の結果発表 (15分)

- ・各マネージャーが(1)～(2)の結果を発表

(4) まとめ (10分)

3 今後について (5分)